

【下平】 令和7年7月30日開催

番号	担当課	項目	分類	質問・意見の要旨／アンケート	回答などの要旨 ※追記部（→）
1	産業課	湯ヶ洞・御大	質問	御大・湯ヶ洞温泉の改修中の営業について、改修工事中はどのような営業になるのか。	まず湯ヶ洞温泉側の改修工事を行い、その期間中は御大の館は営業しています。湯ヶ洞側オープン後、御大の館側の改修工事に入ります。湯が洞温泉の客室にシャワーがつくため、御大の館改修工事中は、当面、宿泊者にはそれを使用していただく運用を予定しています。
2	産業課	湯ヶ洞・御大	質問	御大・湯ヶ洞温泉の料理サービスの課題として、湯が洞を利用している人から話を聞くと、料理の質に問題がある。美味しくない。宴会をやるにしても1日1組しかとっていないと聞くと、改修に伴い、その辺りは改善されるのか。	改装後は湯ヶ洞側に食事スペースを整備し、料理長を配置する予定です。また、地元食材をメインとした料理提供を計画しているところです。コロナ以降宴会の需要が減少していましたが、今後の宴会对応は36名定員の実施予定です。なお、パーティー料理であれば110名までの対応も可能となる予定です。
3	産業課	湯ヶ洞・御大	質問	御大・湯ヶ洞温泉 宿泊者確保の見通しについて、改修により、湯ヶ洞温泉の宿泊部屋数がだいぶ増えることになる。それだけの宿泊者数を確保できるのか。清流苑と比較すると、立地が悪いため、きちんと利用客を呼び込むことができ、町が投資した金額が回収できる見込みがあるのか。	宿泊者に関しては、現時点でも飯田市にリニア関係者が来ており、宿泊場所の絶対数が不足している状況です。改修により部屋数が増えることで、宿泊客で充足できる形になると思われます。改修後は、ビジネスユース向けの部屋や4人家族部屋も用意する計画で、朝食付きプランなど多様なサービス提供を検討しております。このように様々な形をとることで定量の宿泊数を確保する見込みです。15億円をかけた改修費が回収できるかにつきましては、15億円の内訳として、7.5億円が国から補助金が入り、残りの7.5億円は町が借入をしますが、返済時に50%分国から補助がでます。実質的に町の単独費は3.75億円です。現状としてコロナの時期、町が温泉側に補助金として7,000万円を出し、その後年間1,600万円ほど指定管理者に支払い営業していただいていたのですが、改修後20年間、指定管理料なしで経営していただく契約とすれば、今後町から一般財源を持ち出すことなく、投資費用を回収できると思われます。
4	建設課	道路の改良	質問	八日市場線の道路改良について、以前はJRが中心となっていくという話も聞いたが、町単独でやることになったのか。八日市場線の現道は残すことになるのか。現道を直していくということは考えていないのか。	改良工事に際し、要対策土を受け入れ、入れるようであればJR側が用地の調査をするという話がありましたが、地元や地権者との協議により、要対策土は受け入れないこととなったため、今後は町で道路の設計を行い施工していくことになります。現道の八日市場線はこれまで何度も修繕を行ってきた経過がありますが、安全な道を確保していくために地元の皆さん等と協議して新設の道路を整備していくことになりました。現道は沿線住民の方がおられるので残していく予定です。
5	産業課	里山整備	意見	城坂の竹林整備について、管理の方法を町と相談したいと思い、懇談会で発言したが、この2年間1度も町から話を来てくれることが無かった。前回の懇談会で、区と協力して5haの森林整備する面積を確保できれば、県から9割の補助があるという話があった。区全体として5ha以上の森林を管理すると決める中で、城坂の竹林を入れることは難しいと思われる。なるべく城坂単独で解決できる方法を考えてないといけない。いくら竹を町で伐採しても、翌年どうしても生えてきてしまう。年間80万円程要しているため、何とかならないか。	地域と協力するような話し合いの場ができていないことにお詫び申し上げます。担当者に協議するよう伝えます。町での整備状況ですが、年1回下草刈りや伐採をしております。竹も何年か伐採を続けると、だんだん細くなる傾向があります。そのため、伐採と除草剤を掛け合わせたテストを実施しています。 →城坂の竹林整備については、竹を伐採後に地拵えを行い、地域の要望により、モミジ等の中低木を植栽し、下刈りを行いながら木の成長に合わせて竹も衰退していく予定でしたが、予定より木の成長が遅く現在の状況に至っています。将来の維持管理に向けて従前には、地域の協働による里山整備協議会の設立や昨年は里山利用促進協議会の説明をさせていただきましたが、設立に至っておりません。地域に協力をお願いすることも今後と考えられますが、協議の場をもって地域と一緒に今後の維持管理等について検討を進めてまいります。
6	産業課	里山整備	意見	城坂斜面の防災対策のための整備について、雨が降ると石が流れることになるので、竹林整備の前に住民が安心して暮らせるため、土留めをしてもらうことはできないか。	毎年、県建設事務所との現場確認を行っています。現場確認を通してその対策について相談していくのが良いと思うため、地区計画に県への要望を記載していただくようお願いします。
7	産業課	里山整備	意見	城坂の竹林整備について、下平地区として協力できないかと話を聞いているが、この急傾斜地で住民が入り作業することはなかなか難しい。業者が2～3人来て1週間以上かかる作業を、住民が山作業に1度だけ入り整備できるかという無理な話である。地域の皆を巻き込んでやるよりも、他にうまくいく方法を考えてもらえれば助かる。	5haの森林整備する面積がまると、県から補助が入ってくる制度があったため紹介させていただいておりましたが、県の補助金がいままで続くのかも不明なところです。地元の皆さんと相談しながら、このような制度にご協力いただけるのか、難しいのか、最終的に町が直営としてしばらく整備し続けるのか判断していく形になるかと思っています。

【下平】 令和7年7月30日開催

番号	担当課	項目	分類	質問・意見の要旨／アンケート	回答などの要旨 ※追記部（→）
8	健康福祉課	高齢者福祉・介護	質問	高齢者支援対策について、どの地区でもそうであるが、高齢者のみ世帯が増えているかと思う。高齢者の1人暮らしや高齢者のみ世帯への支援として、今後町としてどのような対策が必要か聞かせもらいたい。	現状、高森町の75歳以上の1人暮らしまたは高齢者のみ世帯は600世帯ほどあります。この世帯は減ることはなく増えていく見込みです。町では、保健師や包括支援センターの職員による訪問、また民生委員による月1回の定期的な見守りを実施しています。生活や体調の変化を確認し、必要な場合は適切なサービスにつなげています。地域においても、サロンや敬老祭などで声掛けや見守りを実施していただいております。お気づきの点等ありましたら、健康福祉課や包括支援センターへご連絡ください。将来的には、2040年問題を見据えた対策も必要で、予測では高齢化率40%を超えるとされています。必要なサービスや施設等が利用できるよう計画的に進めていきます。また、家族が何かあったときにすぐ駆け付けられるような距離感が大切であると、若年層にお伝えしています。昔と比較して地元回帰率が少し増加しているため、若い世代の地元定着促進も合わせて考えていく必要があります。高齢化により扶助費が増え、町の財政に影響することは間違いないため、平均寿命と健康寿命の差を縮めるよう一生懸命取り組んでいきます。
9	総務課	まちづくり懇談会	アンケート	普段知らない町政の話が聞けて町に対する理解が深まった。	今後もまちづくりを分かりやすく説明してまいります。
10	総務課	まちづくり懇談会	アンケート	もっと話せる機会を増やしてほしい。	一人でも多くの皆さんにご発言いただけるよう全体の時間配分など懇談会の改善に努めていきます。なお、まちづくり懇談会は地域の皆さんと行政とが話し合う大切な場ですが、これがすべてではありませんので、懇談会以外の場でも皆さんと意見交換を行ってまいります。
11	総務課	まちづくり懇談会	アンケート	本日は10名の参加だったが、もっと多くの方が出席できるような形にしてほしい。	多くの皆さんが参加しやすくなるよう懇談会の改善に努めていきます。なお、まちづくり懇談会は地域の皆さんと行政とが話し合う大切な場ですが、これがすべてではありませんので、懇談会以外の場でも皆さんと意見交換を行ってまいります。
12	総務課	まちづくり全般	アンケート	町長より丁寧なご説明をいただきありがとうございました。中長期にわたりしっかりと計画を立て催行してください。	今後もまちづくりを分かりやすく説明してまいります。
13	産業課	湯ヶ洞・御大	アンケート	わかりやすく良かった。御大・湯ヶ洞を改修しても料金はあげないでほしい。	今後の施設運営を検討する際にご意見として参考にさせていただきます。